

### 三重県における戦後の主な気象災害

発生年月日	要因	主な被害地域	概況	主な被害					
				死者・行方不明者(名)	負傷者(名)	住宅全壊・流出(棟)	住宅半壊(棟)	床上浸水(棟)	床下浸水(棟)
1948 (昭23) 11.19	台風第34号 (アグネス台風)	中南勢 北・南牟婁郡	台風第34号が紀伊半島南端をかすめ、東海 道沖を進み、熊野灘沿岸で被害が大きかった。 最大風速 津 E 13.0m/s 総降水量 尾鷲 461mm	6	1	2	16	901	1879
1949 (昭24) 7.28~29	台風第6号 (ヘスター台風)	全域	台風第6号が志摩半島に上陸、縦断、若狭湾 に抜けた。 最大風速 津 ENE 21.7m/s 最大風速 亀山 NE 19.0m/s 総降水量 津 149mm 総降水量 亀山 217mm	5		14		454	3363
1950 (昭25) 9.3	台風第28号 (ジェーン台風)	全域	台風第28号が紀伊水道に入り、若狭湾に抜 けた。風による被害が大きかった。 最大風速 津 SE 28.4m/s 最大風速 尾鷲 S 20.8m/s 総降水量 津 65mm 総降水量 尾鷲 401mm	3	22	197	317	56	159
1953 (昭28) 8.15	前線	北勢 伊賀	日本海から南下した前線による豪雨で、伊賀 地方で山崩れにより、多数の人命を失う大惨 事となった。 総降水量 上野 291mm 総降水量 亀山 255mm	32	243	199	152	2240	10571
1953 (昭28) 9.25	台風第13号	全域	台風第13号が熊野灘を北上、志摩半島を横 切り知多半島に上陸した。満潮と重なり高潮 で海岸線がほとんど壊滅、未曾有の大被害と なった。 最大風速 津 NE 23.6m/s 最大風速 尾鷲 ENE 22.0m/s 総降水量 津 225mm 総降水量 尾鷲 408mm	44	910	1465	3472	37706	31726
1954 (昭29) 6.22~23	低気圧	全域 (伊賀を除く)	低気圧が本州南岸を通過、南部を中心に大雨 となった。 総降水量 津 110mm 総降水量 亀山 135mm 総降水量 尾鷲 280mm	5	4	16	52	751	3211
1954 (昭29) 9.17~18	台風第14号	全域	台風第14号が紀伊半島南端をかすめ、御前 崎付近に上陸した。 最大風速 津 ENE 16.3m/s 総降水量 津 177mm 総降水量 尾鷲 551mm	5	7	22	12	804	3294
1956 (昭31) 9.25~27	台風第15号	全域	台風第15号が志摩半島沖を通過し、御前崎 付近に上陸した。関西線加太付近で山崩れが 発生、列車転落により犠牲者多数。 最大風速 津 NNW 17.7m/s 最大風速 亀山 NW 18.0m/s 総降水量 津 172mm 総降水量 亀山 238mm	12	9	6	19	751	5291
1956 (昭31) 10.29~ 30	低気圧	南部	日本海と南岸の低気圧による暴風雨で、南部 で大雨が降り、死傷者がでた。 最大風速 津 E 20.2m/s 最大風速 尾鷲 E 17.7m/s 総降水量 津 81mm 総降水量 亀山 367mm	9	8	62	25	144	327
1958 (昭33) 1.26~27	低気圧	南部の海上	日本海低気圧の発達で海上は大しけとなり、 紀勢町、南勢町の漁船が相次いで遭難。南勢 町田曾浦でタンカーが沈没。 最大風速 亀山 NW 17.7m/s 最大風速 尾鷲 W 12.4m/s	11					
1958 (昭33) 7.22~23	台風第11号	南部の海上	台風第11号が南海上を北上し、御前崎付近 に上陸した。神島沖で漁船が沈没。 最大風速 津 E 17.4m/s 最大風速 尾鷲 NE 14.7m/s	7					

1958 (昭33) 8.24~25	台風第17号	全域	台風第17号が和歌山県に上陸し、奈良県、琵琶湖西方を通過した。熊野川の氾濫により紀宝町、紀和町で犠牲者多数。 最大風速 津 SE 25.8m/s 最大風速 尾鷲 SSE 19.1m/s 総降水量 尾鷲 531mm	7						
1959 (昭34) 8.12~14	台風第7号	全域	台風第7号が静岡県富士川付近に上陸し、前線の活発化により大雨となった。特に北勢地方の多度川が決壊し、被害甚大。 総降水量 津 464mm 総降水量 亀山 468mm 総降水量 上野 222mm 総降水量 尾鷲 530mm	4	7	21	54	337	5218	
1959 (昭34) 9.23~26	台風第15号 (伊勢湾台風)	全域	台風第15号は非常に大きな暴風域を保ったまま潮岬付近に上陸し、三重県の西側を北上した。上陸時の中心気圧は929.5mbで、この値は室戸、枕崎台風と並ぶ明治以後の3大台風に加えられる。上陸時の暴風域は半径250km、中心付近の最大風速は50m/sであった。台風経路の右側にあたる伊勢湾沿岸に26日夜に襲撃し、高潮と烈風により壊滅的な被害を受けた。 最大風速 津 ESE 36.8m/s 最大風速 亀山 SE 28.4m/s 最大風速 上野 E 24.2m/s 最大風速 尾鷲 S 28.1m/s 総降水量 津 405mm 総降水量 亀山 311mm 総降水量 上野 333mm 総降水量 尾鷲 692mm	三重県 1273 (総数5041 うち愛知県 3351)	三重県 4625 (総数 38838)	5208	12192	44423	35806	
1960 (昭35) 10.6~7	低気圧と前線	南部	南岸に停滞した前線の活発化で、南部大雨により、伊勢湾台風にも勝る被害。 7日降水量 尾鷲 521mm	6	6	34	13	1304	2645	
1961 (昭36) 6.24~29	梅雨前線	全域	南岸に停滞した梅雨前線の活発化で、北部と南部で大雨、特に北勢地方で被害甚大。 総降水量 津 559mm 総降水量 亀山 588mm 総降水量 上野 385mm 総降水量 尾鷲 1057mm	15	11	16	37	2235	13100	
1961 (昭36) 9.16	台風第18号 (第2室戸台風)	全域	台風第18号が室戸岬の西に上陸し、猛烈な暴風雨となり、大きな被害を受けた。 最大風速 津 SSE 27.4m/s 最大風速 亀山 WSW 23.3m/s 最大風速 上野 SSW 20.7m/s 最大風速 尾鷲 ESE 15.7m/s 総降水量 津 126mm 総降水量 亀山 125mm 総降水量 上野 65mm 総降水量 尾鷲 321mm	3	54	207	491	61	3068	
1967 (昭42) 10.27~28	台風第34号	全域	台風第34号が志摩半島をかすめ、愛知県南部に上陸した。熊野市の国道42号線改修工事現場で鉄砲水が発生し、犠牲者多数。 総降水量 津 232mm 総降水量 上野 136mm 総降水量 尾鷲 401mm	23	4	16	19	666	5788	
1971 (昭46) 9.9~10	前線	南部 (尾鷲市、 熊野市)	台風第25号が通過後、前線が北上活発化、尾鷲で記録的な豪雨となった。急傾斜地での崩壊で犠牲者多数。 総降水量 木本 632mm 総降水量 尾鷲 1095mm	42	39	63	8	459	741	
1971 (昭46) 9.26	台風第29号	全域	台風第29号が紀伊半島南端に上陸し、尾鷲付近から伊勢湾に入った。規模は小さかったが、県内一帯が大雨となった。高波により釣り人が遭難した。 最大風速 津 NW 15.2m/s 最大風速 尾鷲 ENE 11.3m/s 総降水量 津 183mm 総降水量 尾鷲 203mm	8	4	6	3	2254	18832	

1974 (昭49) 7.24~25	低気圧	北部、中部	南岸を東進した低気圧が紀伊半島の南海上から北上し、三重県を縦断した。山間部で400~500mm、平野部で300mmを超える大雨となった。 総降水量 津 331mm 総降水量 四日市 306mm	10	24	25	25	14333	27538
1982 (昭57) 8.1~3	台風第10号と前線	全域	台風第10号が志摩半島をかすめ、渥美半島西部に上陸した。中部で大雨となり、名松線の前線が土砂崩れのため不通となり、嬉野町小原で民家4棟が土砂で押しつぶされた。その後南岸の前線と台風第9号から変わった低気圧による大雨で、南勢地方で多くの浸水被害が発生した。 最大風速 津 W 12.4m/s 最大風速 上野 N 10.1m/s 最大風速 尾鷲 ENE 14.0m/s 総降水量 津 342mm 総降水量 上野 362mm 総降水量 尾鷲 580mm	24	17	88	111	1875	7060
1990 (平2) 9.19~20	台風第19号と前線	全域	台風第19号が19日昼前に和歌山県南部に上陸した後、夜にかけて三重県を縦断し、県内は各地で激しい風雨に見舞われ、多くの被害が発生した。 最大風速 津 ESE 32.6m/s 最大風速 四日市 SE 20.2m/s 最大風速 上野 ESE 18.3m/s 最大風速 尾鷲 SSE 22.0m/s 最大瞬間風速 津 ESE 43.9m/s 最大瞬間風速 四日市 ESE 40.2m/s 最大瞬間風速 上野 ENE 39.4m/s 最大瞬間風速 尾鷲 SE 56.1m/s 総降水量 津 119mm 総降水量 四日市 104mm 総降水量 上野 129mm 総降水量 尾鷲 332mm		18	28	161	80	458
1994 (平6) 9.28~30	台風第26号	全域	台風第26号は29日19時過ぎに和歌山県南部に上陸した後、夜にかけて三重県の西側を通過した。県内は各地で暴風雨に見舞われ、多くの住宅や農業、林業、養殖漁業などに大きな被害が発生した。また、津市雲出綱管町の日本鋼管津製作所で、岸壁に係留していた建造中の貨物船2隻(ともに15万t)の綱が切れて流され、約2km離れた御殿場海岸に並んで乗り上げた。 最大風速 津 SE 34.1m/s 最大風速 四日市 ESE 21.8m/s 最大風速 上野 E 17.5m/s 最大風速 尾鷲 E 21.4m/s 最大瞬間風速 津 ESE 48.7m/s 最大瞬間風速 四日市 ESE 43.1m/s 最大瞬間風速 上野 E 37.2m/s 最大瞬間風速 尾鷲 E 41.4m/s 総降水量 津 117mm 総降水量 四日市 122mm 総降水量 上野 159mm 総降水量 尾鷲 452mm		4	2	123	111	393

<p>1998 (平10) 9.21~24</p>	<p>台風第7号と 8号</p>	<p>全域</p>	<p>台風第8号は21日夕方和歌山県に上陸した後、温帯低気圧に弱まったが、続いて北上した台風第7号が22日昼過ぎに和歌山県に上陸し、夕方にかけて三重県の西側を通過した。県内は各地で暴風に見舞われ、多くの死者、けが人等被害が発生した。</p> <p>最大風速 津 SE 29.8m/s 最大風速 四日市 WSW 24.1m/s 最大風速 上野 SW 25.9m/s 最大風速 尾鷲 SSE 19.7m/s 最大瞬間風速 津 SSE 48.0m/s 最大瞬間風速 四日市 WSW 49.4m/s 最大瞬間風速 上野 SSW 56.4m/s 最大瞬間風速 尾鷲 WSW 44.0m/s 総降水量 津 115mm 総降水量 四日市 94mm 総降水量 上野 91mm 総降水量 尾鷲 338mm</p>	<p>3</p>	<p>88</p>	<p>6</p>	<p>2830</p>		<p>16</p>
<p>2004 (平16) 9.28~30</p>	<p>台風第21号と 前線</p>	<p>全域</p>	<p>台風第21号が九州の西海上を北東進し、本州付近に停滞した前線に向かって南東から暖かく湿った気流が流れ込み、28日夜から激しい雨が降り出し、29日朝から昼過ぎにかけて紀勢・東紀州や中部を中心に記録的な大雨となった。宮川村では大規模な斜面崩壊や土石流などがいたる所で発生し、死者6人、行方不明1人、重傷者2人、海山町では町内を流れる船津川の氾濫により死者2人、床上浸水1625棟と、いづれも過去に経験したことのない大災害となった。また津市内でも床上浸水451棟の大きな災害となった。</p> <p>総降水量(28~30日)</p> <p>津 441mm 粥見 575mm 尾鷲 876mm 御浜 424mm</p> <p>(宮川、紀伊長島、藤坂岬は、 回線障害のためデータなし。)</p>	<p>10</p>	<p>2 (重傷者)</p>	<p>25</p>	<p>59</p>	<p>2690</p>	<p>3459</p>